

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果

調査概要

調査日時：平成29年4月18日（火）

調査事項：

①児童生徒に対する調査：国語，算数・数学及び質問紙調査

②学校に対する質問紙調査

調査対象及び集計対象児童生徒・学校数：

	小学校				中学校			
	児童数		学校数		生徒数		学校数	
	調査対象児童数※1	4月18日に調査を実施した児童数※2	調査対象学校数	4月18日に調査を実施した学校数	調査対象生徒数※1	4月18日に調査を実施した生徒数※2	調査対象学校数	4月18日に調査を実施した学校数
公立	1,031,772人	999,723人	19,577校	19,456校 (99.4%)	1,040,281人	982,811人	9,628校	9,539校 (99.1%)
国立	6,495人	6,390人	75校	75校 (100.0%)	10,740人	10,107人	80校	77校 (96.3%)
私立	12,819人	6,468人	224校	114校 (50.9%)	80,412人	31,271人	759校	366校 (48.2%)
合計	1,051,086人	1,012,581人	19,876校	19,645校 (98.8%)	1,131,433人	1,024,189人	10,467校	9,982校 (95.4%)

※1 調査対象児童生徒数について、公立・国立は、調査実施前に学校から申告された児童生徒数、私立は、平成28年度学校基本調査による。調査当日までの転出入等により増減の可能性がある。

※2 調査を実施した児童生徒数は、回収した解答用紙が最も多かった教科の解答用紙の枚数で算出。

教科の調査結果

全国（国公私）の平均正答率・数

	小学校				中学校			
	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
平成29年度	74.9% 11.2 /15問	57.6% 5.2 /9問	78.8% 11.8 /15問	46.2% 5.1 /11問	77.8% 24.9 /32問	72.7% 6.5 /9問	65.2% 23.5 /36問	48.7% 7.3 /15問
(参考値) 平成28年度	73.0% 11.0 /15問	58.0% 5.8 /10問	77.8% 12.4 /16問	47.4% 6.2 /13問	76.0% 25.1 /33問	67.1% 6.0 /9問	62.8% 22.6 /36問	44.8% 6.7 /15問

今年度の変更点

- 都道府県別の平均正答率について全ての公表・提供資料を整数値に変更
- 指定都市別の結果を新たに公表

1. 教科に関する調査結果

小学校

<国語>

- ことわざの意味の理解や、漢字の読みについては、相当数の児童ができています。
- 目的や意図に応じて、場に応じた適切な言葉遣いで話したり、必要な事柄を整理して書いたりすることに課題がある。また、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることにも課題がある。

- ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることについては、相当数の児童ができています。(別紙P.1)

ことわざの使い方の例として適切なものを選択する設問
【A5ア】90.1%(三度目の正直)
【A5イ】83.8%(もちほもち屋)

- 今回出題した漢字の読みについては、相当数の児童ができています。(別紙P.2)

漢字の読みを書かせる設問
【A7(3)】申し込み期限94.5%
【A7(4)】事務室前88.9%
【A7(6)】指示94.6%

- 目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで話すことに課題がある。(別紙P.3~5)

折り紙のみりよくについて、スピーチメモとグループの話し合いで出された意見を基に書く設問 【B1三】48.6%

- 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して、協力を依頼する文章を書くことに課題がある。(別紙P.6~7)

「水やりに協力してくれる人をぼ集めます」の[イ]に入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く設問
【B2三】33.2%

- 物語を読み、感想を伝え合う中で、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることに課題がある。(別紙P.8~10)

「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く設問
【B3三】43.9%

- (注) □ … 「相当数の児童生徒ができています」
「改善の傾向がみられる」
■ … 「課題がある」

<算数>

- 二つの数量の関係や、小数の乗法の計算における乗法の性質の理解については、相当数の児童ができています。
- 二次元表の理解や、基準量・比較量・割合の関係を的確に捉え、判断理由を数学的に表現することに課題がある。

- 具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解したり、小数の乗法の計算において、乗法を整数に置き換えて考えるときの、乗法の性質を理解したりすることは相当数の児童ができています。(別紙P.11)

リボンを2m買ったときの代金と3m買ったときの代金を書く設問 【A1(1)】97.0%
60×0.4を、60×4を基にして考えるときの、正しい積の求め方を選ぶ設問 【A1(3)】91.1%

- 資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めたり、示された式の中の数の意味を、二次元表と関連付けながら正しく解釈し、それを記述したりすることに課題がある。(別紙P.12~14)

二次元表の合計欄に入る数を書く設問 【A9(2)】63.1%
示された式の中の数が表す意味を書き、その数が表のどこに入るかを選ぶ設問 【B4(1)】40.2%

- 問題に示された二つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述することに課題がある。(別紙P.15~16)

2けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く設問
【B1(3)】38.8%

- 示された方法や考えを解釈し、問題場面に適用したり、ほかの場合に適用して解決方法を考え、それを記述したりすることに課題がある。(別紙P.17~21)

13本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を3等分するのは、何本目の直線と交わった点かを書く設問
【B2(2)】27.7%
仮の平均の考えを活用し、測定値の平均を求める設問
【B3(2)】26.3%

- 身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断理由を記述することに課題がある。(別紙P.22~23)

与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけを書く設問
【B5(2)】13.5%

中学校

<国語>

- 漢字の読みや、目的に応じて資料を効果的に活用して話すことについては、相当数の生徒ができています。
- 事象や行為などを表す多様な語句について理解することに課題がある。
- 伝えたい事実や事柄について、根拠として取り上げる内容が適切かどうかを吟味する点に、依然として課題がある。

- 文脈に即して漢字を正しく読むことは、相当数の生徒ができています。(別紙P.24)

漢字の読みを書かせる設問
【A9二1】98.7%(覚悟を決める)
【A9二2】94.6%(鮮やかな色合い)
【A9二3】94.4%(水が垂れる)

- 目的に応じて資料を効果的に活用して話すことは、相当数の生徒ができています。(別紙P.25～26)

スピーチをよりわかりやすくするためにイラストを提示する箇所として適切なものを選択する設問 【A2一】88.1%
スピーチの中で実演を行った意図として適切なものを選択する設問 【B2一】85.7%

- 事象や行為などを表す多様な語句について理解することに課題がある。(別紙P.27)

話合いの記録として適切な言葉を考える
【A9五】36.5%

- 伝えたい事実や事柄について、根拠として取り上げる内容が適切かどうかを吟味する点に、依然として課題がある。(別紙P.28～29)

スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す設問
【B2三】58.2%

- 見通しをもって必要な情報を集める際に、集める方法や内容を構想することはできているが、その情報が必要であると考え理由を明確にする点に課題がある。(別紙P.30～31)

アンケートをとる対象と質問内容、その質問についての回答を基にした内容を載せることで興味をもってもらえたと考えた理由を書く設問
【B3三】69.3%

<数学>

- ある数量を正の数と負の数で表すことの理解、簡単な一元一次方程式を解くことは、相当数の生徒ができています。
- 数学Aの一部の問題において、改善の傾向がみられる。
- 扇形の弧の長さを求めること、関数の意味や範囲の意味の理解に課題がある。また、各種事象を数学的に説明することにも課題がある。

- 分数の乗法の計算、実生活の場面でのある数量を正の数と負の数で表されることの理解、簡単な一元一次方程式を解くことは、相当数の生徒ができています。(別紙P.32～33)

$\frac{5}{9} \times \frac{2}{3}$ を計算する設問 【A1(1)】87.6%
3月25日を基準にして3月23日を負の数で表す設問
【A1(4)】89.7%
一元一次方程式 $4x=7x+15$ を解く設問 【A3(1)】83.2%

- 多角形の内角の和の求め方の理解、二元一次方程式と一次関数のグラフの関数の理解、相対度数を求めることについて、改善の傾向がみられる。(別紙P.34～35)

n角形の1つの頂点からひいた対角線によって分けられる三角形の数を選ぶ設問 【A6(2)】69.8%
二元一次方程式が表すグラフを選ぶ設問
【A13】63.4%
6月1日から30日までの記録を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める設問 【A14(2)】46.1%

- 扇形の弧の長さを求めること、関数の意味の理解、範囲の意味の理解について課題がある。(別紙P.36～37)

半径が5cm、中心角が 120° の扇形の弧の長さを求める設問
【A4(3)】32.2%
長方形の縦の長さや面積の関係を、「…は…の関数である」という形で表現する設問 【A9】21.1%
反復横とびの記録の範囲を求める設問 【A14(1)】28.8%

- 記述式問題のうち、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。また、資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。(別紙P.38～40)

四角形ABCDの模様が1回の回転移動によって四角形GBEFの模様に重なるとき、どのような回転移動になるかを説明する設問
【B1(2)】14.8%
「420分未満の女子より420分以上の女子の方が、合計点が高い傾向にある」と主張できる理由をグラフの特徴を基に説明する設問
【B5(3)】18.0%

- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。(別紙P.41～42)

与えられた表やグラフを用いて、貯水量が 1500万m^3 になるまでに5月31日から経過した日数を求める方法を説明する設問
【B3(2)】19.1%

2-1. 主体的・対話的で深い学びの視点による 学習指導の改善に関する状況

- ・習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたかとの質問に「よく行った」または「どちらかといえば、行った」と回答した小中学校の割合は、平成29年度は、平成28年度に比べて増加している。
- ・習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたかとの質問に「よく行った」または「どちらかといえば、行った」と回答した小中学校の方が平均正答率が高い傾向が見られる。
- ・就学援助を受けている児童生徒の割合を統制変数とした三重クロス分析でも同様の傾向が見られる。

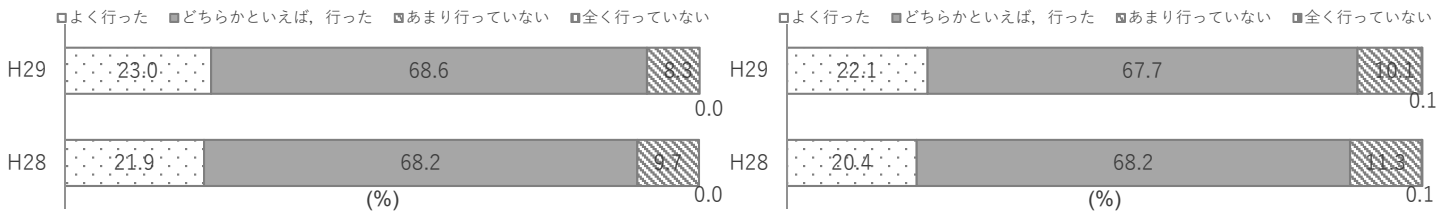
【学校質問紙】調査対象学年の児童[生徒]に対する指導に関して、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

小学校

中学校

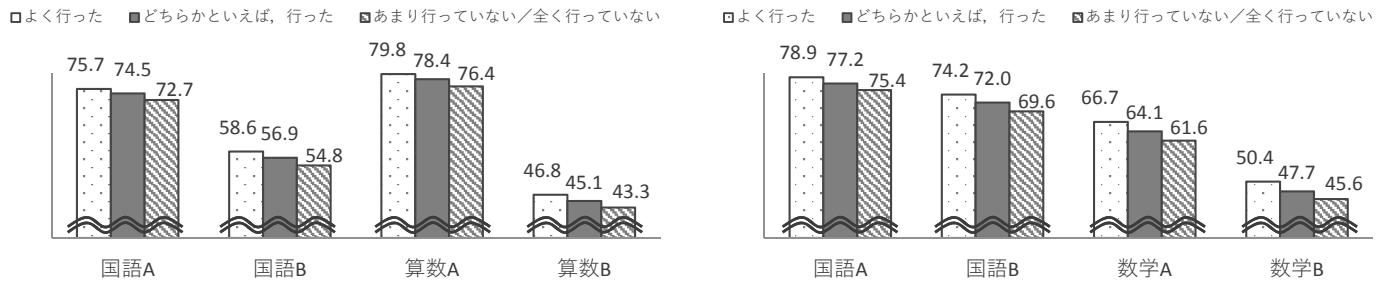
回答割合

※データは国公私



選択肢毎の平均正答率

※データは国公私。「全く行っていない」と回答した学校が100校未満のため、「あまり行っていない」と合算



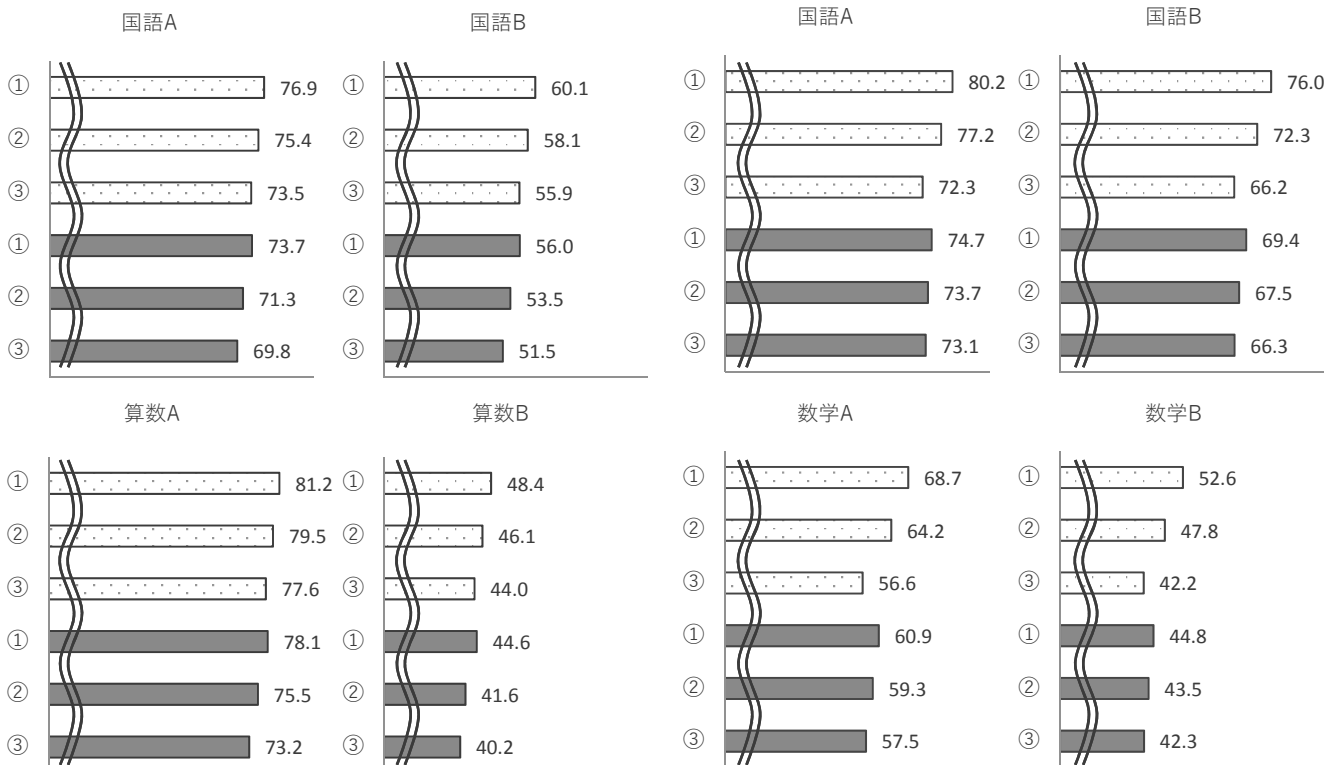
三重クロス分析

■ 就学援助を受けている児童生徒の在籍割合5%未満 ■ 30%以上在籍

①よく行った ② どちらかといえば、行った ③ あまり行っていない

※データは公立

※「④ 全く行っていない」は、学校数が50校未満のため、分析から除外



2-2. 主体的・対話的で深い学びの視点による 学習指導の改善に関する状況

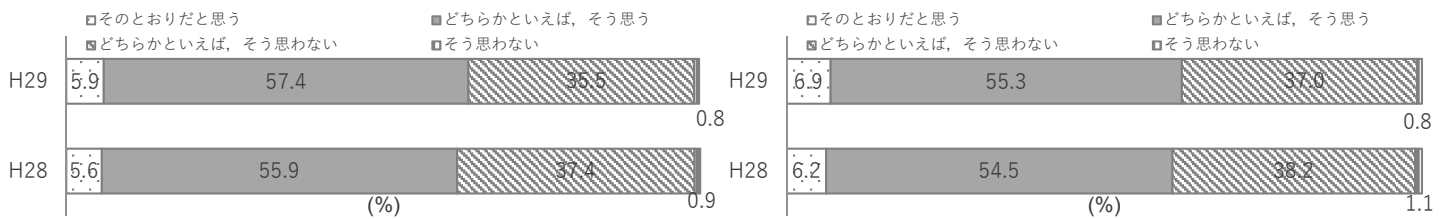
- ・児童生徒は、授業で、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますかとの質問に「その通りだと思う」または「どちらかといえば、そう思う」と回答した小中学校は、平成29年度は、平成28年度に比べて増加しており、また、そのように回答した小中学校の方が平均正答率が高い傾向が見られる。
- ・授業で、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますかとの質問に「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、平成29年度は、平成28年度に比べて増加しており、また、そのように回答した児童生徒の方が平均正答率が高い傾向が見られる。

【学校質問紙】児童〔生徒〕は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

小学校（国公私）

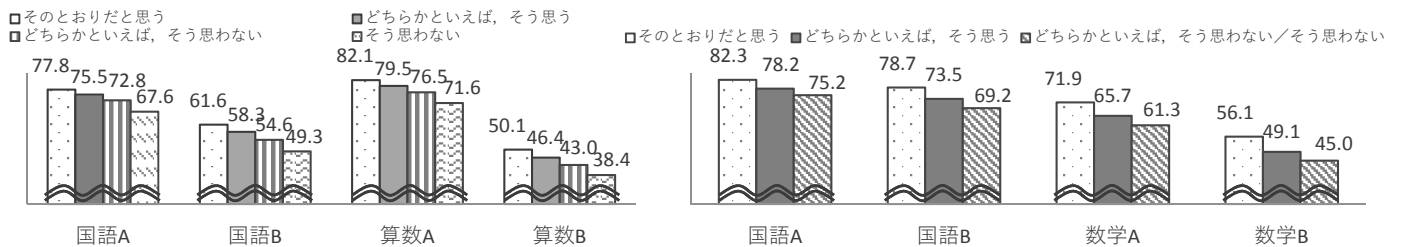
中学校（国公私）

回答割合



選択肢毎の平均正答率

※中学校は「そう思わない」と回答した学校が100校未満のため、「どちらかといえば、そう思わない」と合算

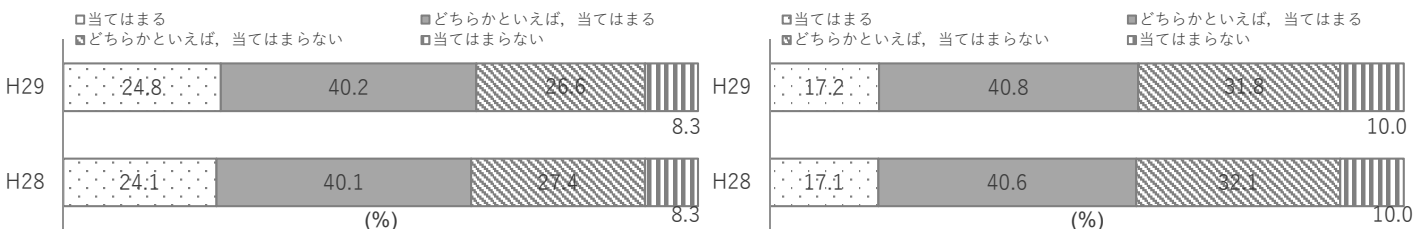


【児童生徒質問紙】5年生まで〔1・2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか

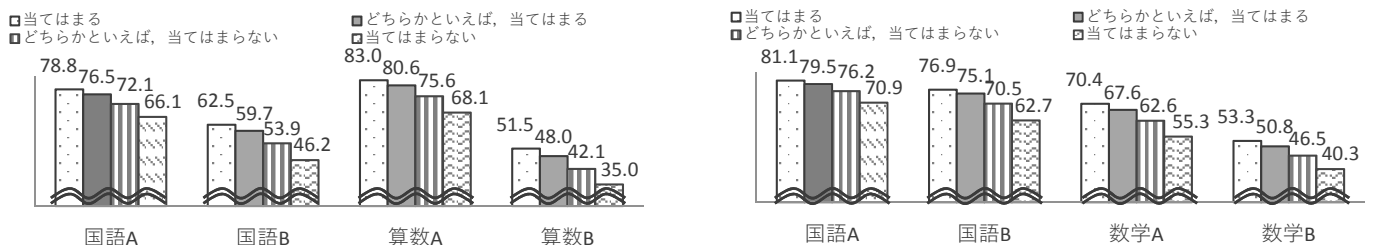
小学校（国公私）

中学校（国公私）

回答割合



選択肢毎の平均正答率



2-3. 主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善に関する状況

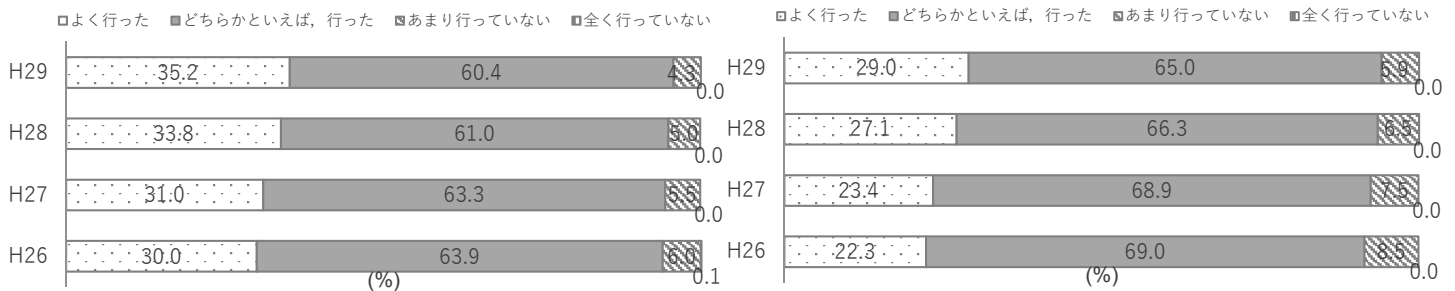
- ・回答状況の経年的な変化を見ると、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたかとの質問に「よく行った」または「どちらかといえば、行った」と回答した小中学校の割合は、平成26年度以降、増加傾向が見られ、また、そのように回答した小中学校の方が平均正答率が高い傾向が見られる。
- ・自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますかとの質問に「そう思う」または「どちらかといえば、そう思う」と回答した児童生徒の割合は、平成26年度以降、増加傾向が見られる一方、平成29年度は、平成28年度に比べてほぼ横ばいの状況である。また、そのように回答した児童生徒の方が平均正答率が高い傾向が見られる。

【学校質問紙】調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか

小学校（国公私）

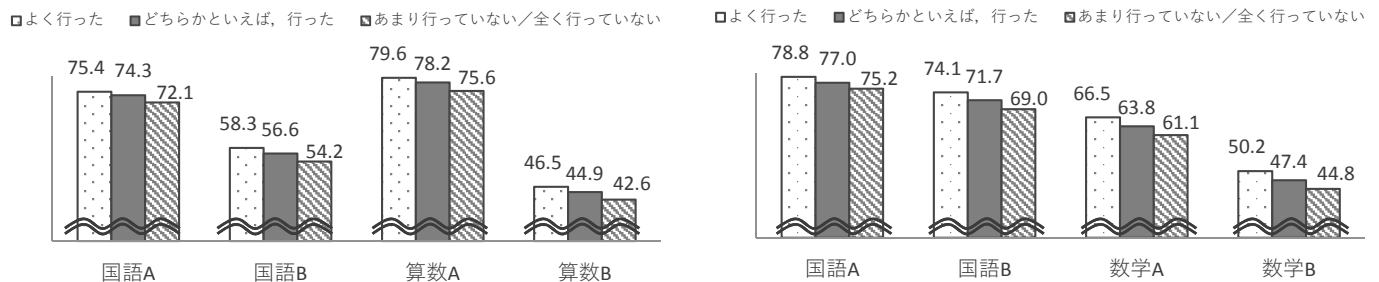
中学校（国公私）

回答割合



選択肢毎の平均正答率

※「全く行っていない」と回答した学校が100校未満のため、「あまり行っていない」と合算

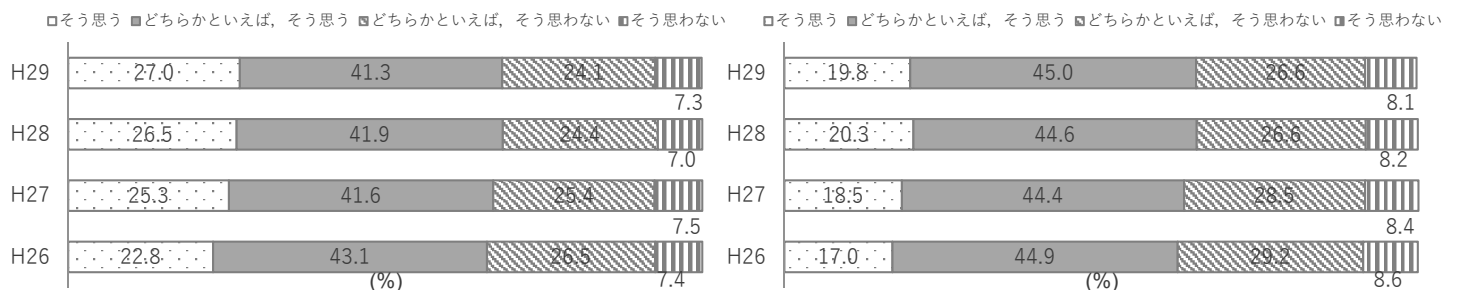


【児童生徒質問紙】学級の友達との間〔生徒の間〕で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

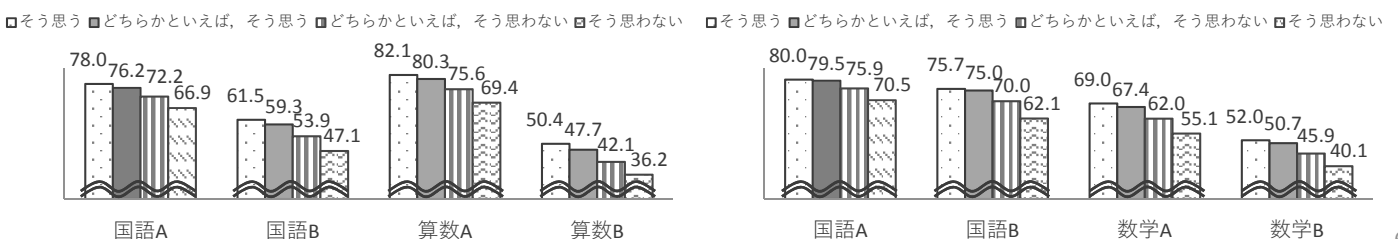
小学校（国公私）

中学校（国公私）

回答割合



選択肢毎の平均正答率



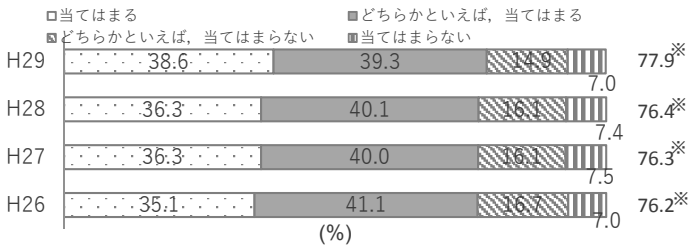
3. 児童生徒の自己肯定感に関する状況

- ・自分には、よいところがあると思いますかとの質問に「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、平成26年度以降、増加傾向が見られ、また、回答別に平均正答率を比較してみると、小学校においては、「当てはまる」と回答した児童の平均正答率が最も高い一方、中学校においては、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の平均正答率が最も高かった。
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますかとの質問に「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、平成26年度以降、増加傾向が見られ、また、回答別に平均正答率を比較してみると、「当てはまる」と回答した児童生徒の平均正答率が最も高かった。

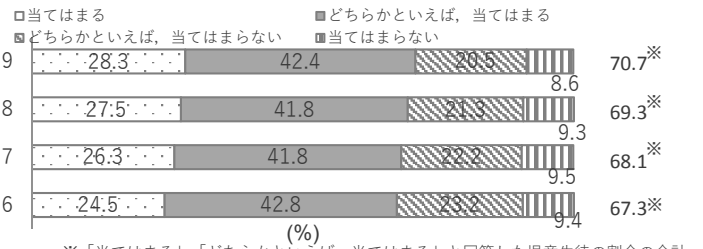
【児童生徒質問紙】自分には、よいところがあると思いますか

小学校（国公私）

回答割合

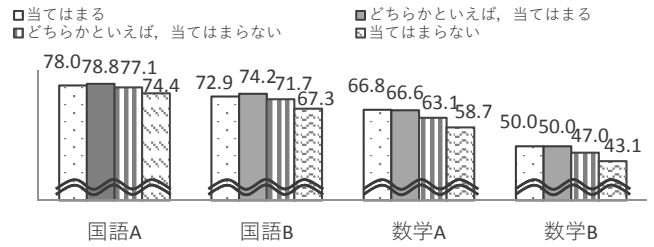
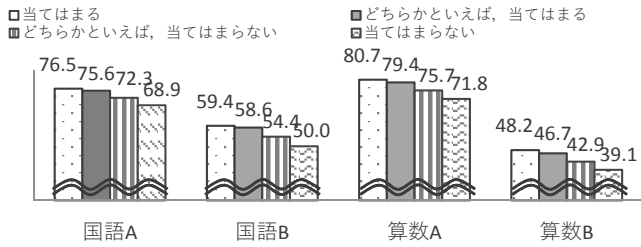


中学校（国公私）



*「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合の合計

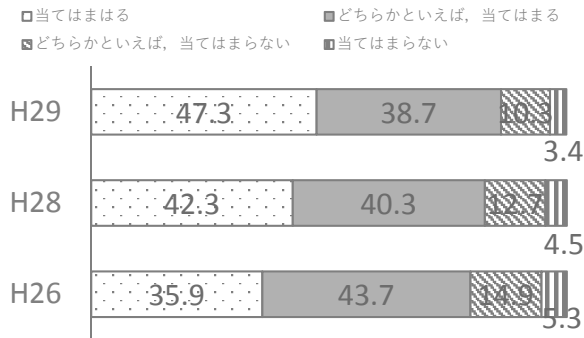
選択肢毎の平均正答率



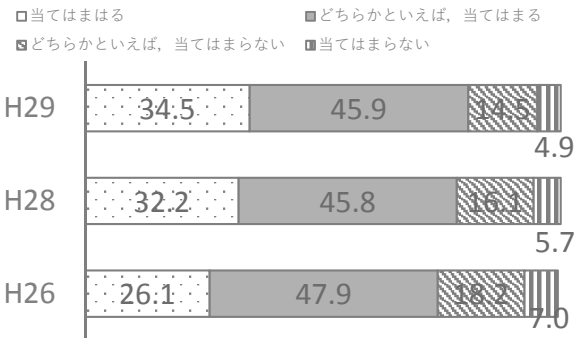
【児童生徒質問紙】先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

小学校（国公私）

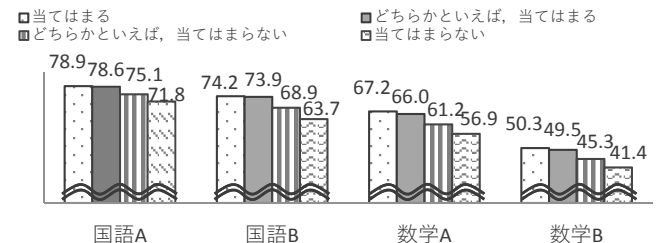
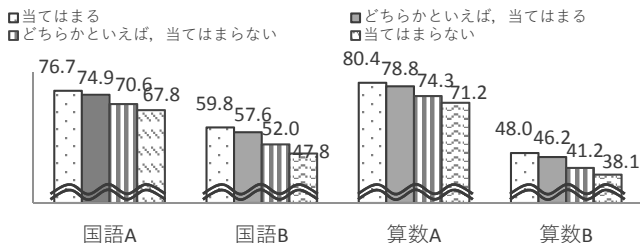
回答割合



中学校（国公私）



選択肢毎の平均正答率



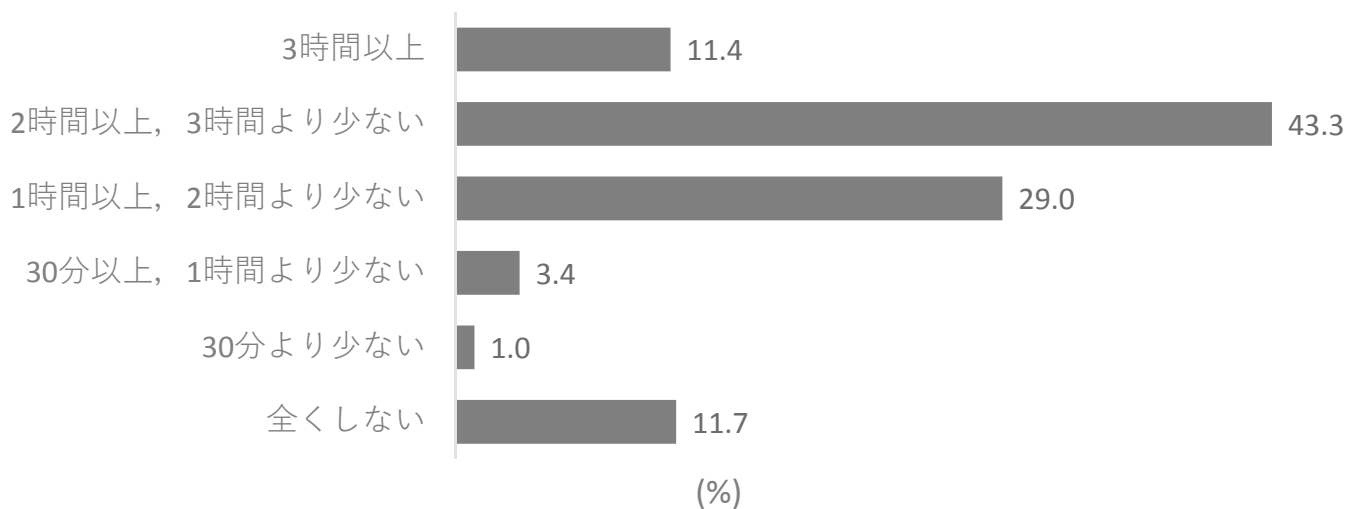
4. 平成29年度新規項目の回答状況

部活動の状況【中学校】（国公私）

- ・平成29年度において、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり、2時間以上、3時間より少ない時間、部活動をしている生徒の割合は約4割と最も高く、1時間以上、2時間より少ない時間、部活動をしている生徒の割合が約3割とその次に高い状況にある。
- ・平成29年度において、部活動の時間別に平均正答率を比較してみると、1日当たり、1時間以上、2時間より少ない時間、部活動をしている生徒の平均正答率が最も高い状況にある。

【生徒質問紙】 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、部活動をしますか

回答割合



選択肢毎の平均正答率

□3時間以上 ■2～3時間 ▨1～2時間 ▩30分～1時間 ▪30分未満 ▫全くしない

